

## 施工区間に隣接する住宅への工夫

広島県土木施工管理技士会  
株式会社 岡本組  
丹下 和宗  
Kazunori Tange

### 1. はじめに

本工事は護岸工事（高潮対策）をするものである。

工事概要：

施工延長 L=90m W=2.8m（水叩幅）

基礎コンクリート62m<sup>3</sup>・基礎型枠工68m<sup>2</sup>

上部コンクリート317m<sup>3</sup>・上部型枠工744m<sup>2</sup>

捨石本均し272m<sup>3</sup>・捨石荒均し148m<sup>3</sup>

被覆本均し186m<sup>2</sup>・裏込工206m<sup>2</sup>

水叩工393m<sup>2</sup>・基礎砕石工255m<sup>2</sup>

作業区間が住宅と隣接しているため、周囲には十分な安全管理が求められた。

### 2. 現場における問題点

- ① 前年度未施工部分の水叩工があり、施工条件として最初に施工しなければならなかった。施工時期が8月上旬となるため、暑中対策を行いながらの施工となる。
- ② また、捨石投入・構造物取壊し時において、騒音・粉塵が出るため、隣接した住宅・通行する人の騒音・粉塵対策が重要となる。
- ③ さらに、施工区間のほとんどが、住宅に隣接しているため、工事の理解を求める必要があった。

### 3. 工夫・改善点

- ① 暑中対策として、待機中のコンクリートミキサー車の生コンの品質の確保のため、屋根付き待機場所を設けた（写真-1）。



写真-1 暑中対策（屋根付き待機所設置）

- ② 捨石投入時において騒音・粉塵を防止するため防音シートの設置をおこない、施工を行った。構造物取壊し時においては、静的破砕材を用いて大割りをし、住宅から離れた場所に運搬してブレーカにて小割りを行った（写真-2）。
- ③ 工事概要を書いたリーフレットを作成し、近隣民家一軒一軒に配布して回り、工事について理解を求めた（図-1）。

